

家庭内環境の温度監視システム

監視機能付き無線ロガーMD8000 受信器イーサネット接続仕様

家庭内事故を防ぐ冬場のヒートショック対策！ 環境温度監視を手軽に実施。

ヒートショックとは、急激な温度変化により血圧が急激に変動する現象で、脳卒中や心筋梗塞などにつながる恐れがあります。
特に影響を受けやすいのは65歳以上の高齢者で、家庭内で高齢者が死亡する原因の1/4を占めると言われており、肌をさすトイレ、脱衣所、浴室では特に注意が必要です。
配線工事不要の無線ロガーであれば、家庭内環境温度監視をリーズナブルに提供出来ます。
離れて暮らすあなたの代わりに、家庭内環境の温度監視を行います。

システム構築例

リビング

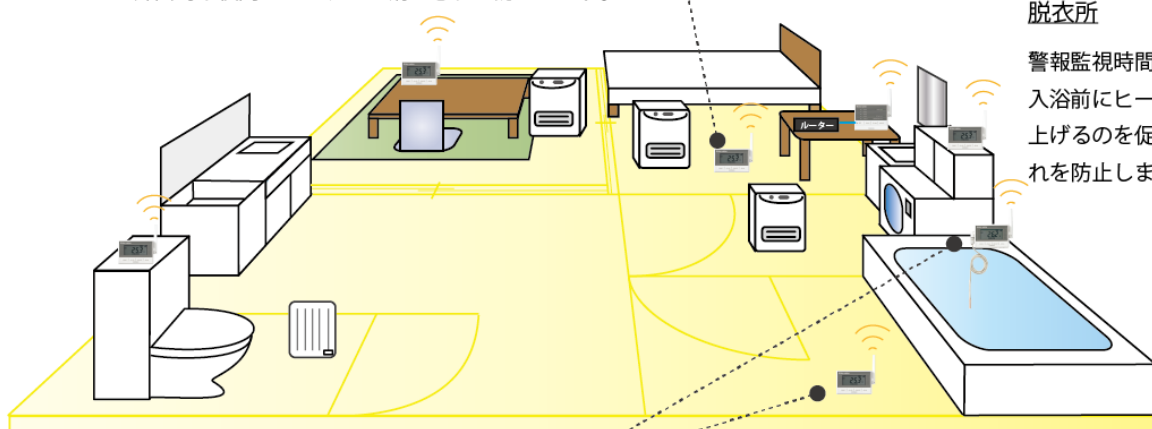
警報監視時間帯：5:00～24:00
警報設定：上限値：25℃、下限値：15℃
快適な室温（冬：約18～20℃）を保ち、
外出時や夜間のヒーターの消し忘れを防止します。

寝室

警報監視時間帯：20:00～24:00
警報設定：上限値：25℃、下限値：15℃
就寝時間が近づくヒーターを点け、室温を
上げるのを促し、就寝前の消し忘れを防止します。

脱衣所

警報監視時間帯：18:00～21:00
入浴前にヒーターを点け、室温を
上げるのを促し、入浴後の消し忘れ
を防止します。



トイレ

警報監視時間帯：5:00～24:00
警報設定：上限値 25℃
就寝前のヒーターの消し忘れ
を防止します。

浴室・湯温

警報監視時間帯：18:00～21:00
入浴前に浴槽のふたを開けて
浴室の温度を上げるのを促します。
また、湯温が下がりすぎるのを防止
します。

特長

- 配線工事不要の無線ロガー
- 防滴構造の為、浴室にも設置可能です
- 電波到達距離は屋内最大 100m
- 温度設定は送信器ごとに個別設定が可能です
- 設定温度から外れた際にはメールでお知らせします
- 警報監視を行う時間を設定可能です
- 中継機能を標準搭載。最大6段中継で各部屋に設置可能です

CHINO

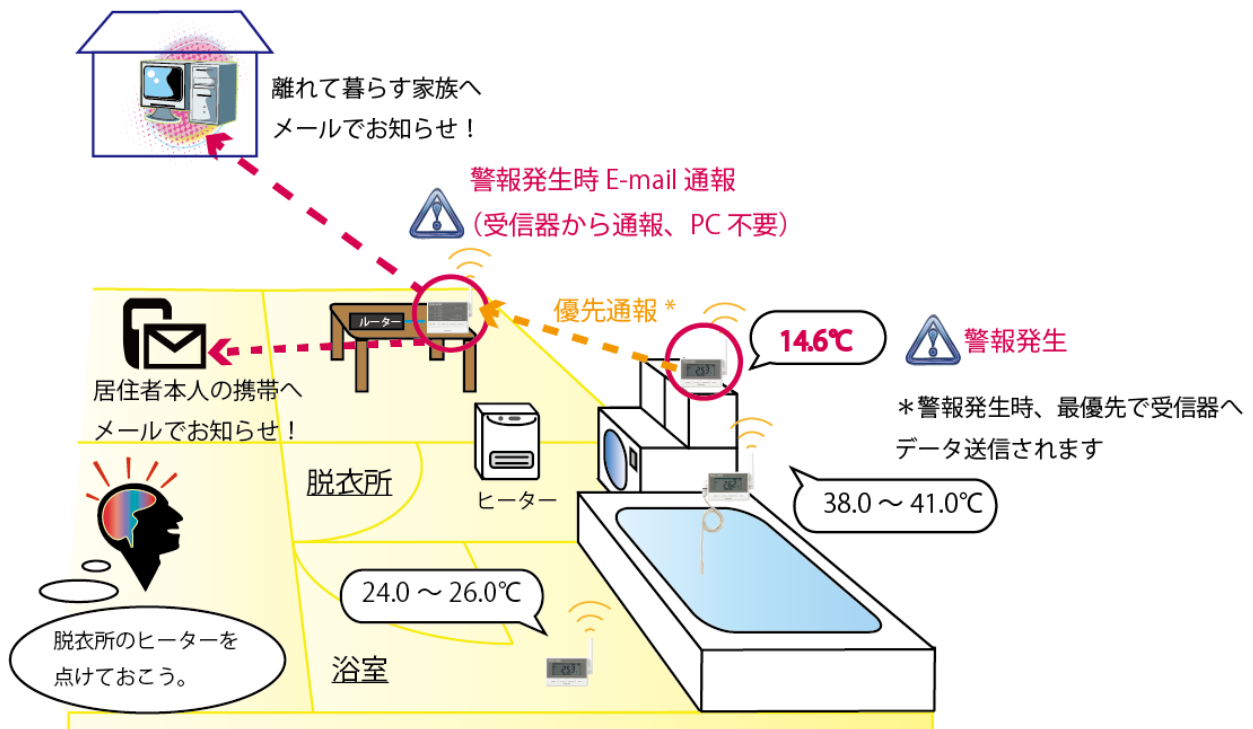
システム概要

入浴時のヒートショックを避けるためには、お湯の温度は41℃以下にし、事前に脱衣所や浴室の温度を24～26℃程度に高くしておくことが望ましいです。

暖房器具を置くことが難しい浴室は、入浴前に浴槽のふたを開けておくだけでも効果的です。ただ、この方法では、お湯の温度が下がりすぎる可能性もあります。

ワイヤレスウォッチャなら、理想の温度帯から外れた場合、警報を出すことができます*。

*ご使用にはインターネット環境が必要です。



ヒートショックは各部屋の温度差が大きいことが原因ですので、対策として、できる限り住まい全体の温度差がなくなるように、簡易暖房器具を設置する方法が有ります。ただ、暖房器具が増えるとスイッチの入れ忘れや、消し忘れによる火災事故など、新たな心配が出てきます。ワイヤレスウォッチャなら、警報判定を行う時間をセンサごとに個別設定出来ますので、ライフスタイルに合わせた警報監視が可能です。

株式会社チノ

小規模モニタリングシステムPCチーム
〒173-8632 東京都板橋区熊野町 32-8
TEL:03-3956-2131
FAX:03-3956-8767

ワイヤレスウォッチャ MD8000 シリーズの詳しい情報は
株式会社チノのホームページに掲載しています。
<http://www.chino.co.jp/products/wireless/index.html>